

第2次備前市子ども読書活動推進計画（案）に対する意見募集の公表について

第2次備前市子ども読書活動推進計画（案）に対して、市民の皆様からご意見を募集した結果について、ご意見の要旨と市の考え方は次のとおりです。

ご意見をお寄せいただきましてありがとうございます。

意見募集期間 平成27年2月25日（水）～3月18日（水）

意見募集結果1件（1名）

意見等の要旨	市の考え方
<p>市立図書館の蔵書整理等について、本館分館共に本の上に別の本が横積みされるなど他の図書館では見られない乱雑な書架の状況だ。子ども向けコーナーも利用しやすい配置を工夫していただきたい。実用書や法律書については、内容が古く使用できない。図書館利用者の増加を望むなら新書の購入は必要事項と考えられる。</p>	<p>館内の書架は、毎日返却等の際に整備を行っていますが、整頓が行き届いていない箇所や利用の不便な箇所があれば検討しますので、お知らせください。</p> <p>また、図書の購入については、リクエスト本等を検討し、限られた予算を有効に使うようにしています。</p> <p>ご指摘の点については、改善点があると考えています。ご意見を慎重に受け止め、限られた予算とスペースの中で、資料購入、配架の整備や工夫、館内表示等、利用性の向上のため改善に努めます。</p>
<p>読み聞かせのボランティア団体等について、乳児向けの読み聞かせに参加したが、工作等、乳児が参加できない内容が行われている。また、土足の床面にゴザを敷いただけで大人でも冷たい床に、立ち歩けない乳児を横にさせることには抵抗を感じた。</p> <p>多くのボランティア団体が活動していることは良いが、市で定期的にヒアリングや視察を行い資質向上等に努めるべきだ。</p>	<p>ご心配をおかけしたことをお詫びします。図書館では子どもが絵本やおはなしを楽しんで頂けるよう、各3館で幼児向けと小学生向けの読み聞かせ会をボランティアと協力し行っています。</p> <p>ご指摘の日生分館については、通常会場は和室ですが、ご指摘の際は工作の都合上、会議室を使用しました。今後は、よく打ち合わせ、気持ちよく楽しんで頂けるよう会場や内容の配慮に努めます。</p>
<p>市立図書館の電子書籍端末貸出について、保護者としても市民としても必要性が感じられない。青空文庫の提供であれば、ほとんどの本が市立図書館等に設置されており、電子貸出する予算を分館の司書配置や新書購入、優秀なボランティア団体への補助などに利用していただきたい。</p>	<p>電子書籍の普及が予測される中、図書館として幅広く多様な資料を収集・提供を考えており、今後、紙の書籍だけでなく、電子書籍も提供していくことが必要になると考え、試験的に実施しています。ご理解をお願いします。</p>
<p>計画内容について「～の促進、啓発、充実」等が多く、具体的な施策等が見えない。市民としては不安を感じる。</p> <p>また、他の自治体図書館では、地域コミュニティの創設等に貢献している例が多数ある。それに対し備前市の図書館は残念である。</p>	<p>本計画は目標達成に向けた子ども読書活動推進における5年間の施策の方向をまとめています。本計画の総合目標を達成するため、施策の分野ごとに評価指数を設定しており、計画の理念に近づけるよう、職員一同努力します。</p> <p>なお、図書館機能の充実については、市総合計画に基づき、各種目標達成のための取組を実施します。</p>